

# アイエスエフネット

# 時短正社員を制度化

## 育児・介護 支援

アイエスエフネット（東京都港区、渡辺幸義社長）は、パートのような有期契約ではなく、フルタイムの正社員と同じ給与体系や社会保険などが受けられ、1日の勤務時間を最大2時間まで短縮可能な人事制度「ショート正社員」を導入する。同社はIT技術者の派遣で実績を持ち、これまで時短正社員は個別契約で一部行ってきた。今回、育児・介護と仕事の両立支援に向けた国の制度改革を契機に、ショート正社員を制度化する。

## 勤務、2時間まで短縮

新制度でキャリアアップの新たな道を開く（イメージ）



出産や育児、介護など、出産や育児、介護などで仕事を辞めたIT技術者が時短正社員として再スタートを切り、キャリアアップできる新たな道を開くのが狙い。

まずは出生後休業支援給付金や育児時短就業給付金といった国の制度改革を受けて、出産や育児などで働くことを諦めていた女性技術者を中心に、2025年末までに50人のショート正社員（短時間正社員）の採用を目指す。

併せて介護離職防止の施策が企業に義務付けられることも踏まえ、親の介護をしながら働くIT技術者にも対象を広げたい

### 短時間正社員と短時間労働者（パート）の違い

	短時間正社員	短時間労働者（パート）
労働契約	フルタイム正社員と同じ無期契約（期間の定めなし）	労働期間の定めのある有期契約
給与、賞与など	時間当たりの基本給、賞与などの算定方法はフルタイム正社員と同じ	時給
労働時間	1日の勤務時間を最大2時間まで短縮可能	短時間、短日勤務のいずれも可能（労働時間に制約はない）
社会保障	フルタイム正社員と同じ	一定の条件を満たした場合のみ適用

アイエスエフネットの資料を基に作成

スキルや経験を持ちながらも、時間的制約のため正社員として働くことが難しくなってきたIT技術者の採用を順次増やす計画。30年までに時短正社員の比率で全社比10%の250人程度を目指す。IT業界では技術者不足が深刻化し、特に経験豊富な人材の離職

は大きな課題となっている。一方で、出産や育児、介護などを理由に、キャリアを中断せざるを得ない技術者も少なくない。アイエスエフネットはここに着目し、ダイバーシティ（多様性）推進の環境でショート正社員をいち早く制度化した。同社によると「個別契約に基づいて短時間で勤務している既存の従業員のうち15%は管理職が占める」。例えば入社9年目に産休・育児を取得し、復職後に時短勤務となり、現在、海外向け部門でグループ長に就いているケースもあるという。また、女性管理職割合も業界平均の約10%を大きく上回り、全社レベルでダイバーシティ施策を推進している。